

第 132 回 計測技術委員会議事録

日 時 平成 23 年 10 月 14 日 (金) 14 : 30~17 : 00
場 所 電気倶楽部 B 会議室
出席者 委員長 田辺 (電中研)
委員 岩佐 (産総研)、作田 (日本大)、佐山 (防衛大)、
木本 (佐賀大)、竹内 (横河電機)、仲嶋 (三菱電機)
幹 事 作本 (日電検)、大谷 (アンリツ)
幹事補佐 白井 (日電検)、小平 (日電検)

資 料

- 132-1 平成 24 年度 計測技術委員会活動計画 (二次案)
- 132-2 平成 24 年度 計測研究会開催予定 (二次案)
- 132-3-1 平成 23 年 計測研究会開催状況
- 132-3-2 計測研究会プログラム (11 月開催分)
- 132-3-3 電気学会 研究会企画連絡シート (1 月開催分)
- 132-3-4 電気学会 研究会企画連絡シート (2 月開催分)
- 132-3-5 電気学会 研究会企画連絡シート (3 月開催分)
- 132-4-1 スマートグリッドにおける計量トレーサビリティ調査専門委員会設置趣意書 (二次案)
- 132-4-2 委員会委員公募掲載様式
- 132-5-1 IEEE IM-09 学生発表会に関する内規 (案)
- 132-5-2 IEEE 主催 第 1 回「学生研究発表会」開催のお知らせ
- 132-5-3 IEEE 主催 学生研究発表会原稿の書き方
- 132-5-4 IEEE 主催 第 1 回 学生研究発表会 予稿集
- 132-5-5 IEEE IM-09 学生研究発表会 判定用紙
- 132-5-6 Chapter 支援費申請書
- 132-6 Recent Activities in the Technical Committee of Instrumentation and Measurement of IEEEJ
- 132-7 電気計測分野における研究開発の動向と最前線
- 132-8 計測標準フォーラム第 9 回講演会 NMIJ 計量標準セミナー
- 132-9 電気学会 計測技術委員会における活動の紹介

議 事

1. 議事録の確認

異議なく承認された。

2. 平成 24 年度 計測技術委員会活動計画および平成 24 年度 計測研究会開催予定

作本幹事より資料 132-1 および資料 132-2 に基づき、平成 24 年度 計測技術委員会活動計画 (二次案) および平成 24 年度 計測研究会開催予定 (二次案) についての説明があった。

- ・活動計画に関し、見学会を 2 回から 1 回に変更した。研究会については一次案から変更ない。
- ・研究会テーマの「遠隔計測」を「センサ応用」にしてはどうかとの提案に対し、「センサ」は E 部門にあるため、区別するために「計測」を入れたほうが良いのではとの意見があった。これについては、ハンドブックの項目を参考に適切な名称がないか検討課題とした。

3. 平成 23 年 計測研究会開催状況

作本幹事より資料 132-3-1 から資料 132-3-5 に基づき、平成 23 年の計測研究会の開催状況について説明があった。

- ・現時点では 9 月まで実施済みである。

- ・11月開催の研究会は8件を予定している。
- ・12月開催の研究会は最終的に5件になるかもしれない。
- ・2月開催の研究会の開催場所について、候補地の事情により伊勢は無理そうであるため、付近の他の場所を検討する。
- ・2月開催の研究会について、竹内委員をメールの宛先に追加する。
- ・3月開催の研究会の開催場所について、昨年と同様に新潟を予定している。

4. 新設調査専門委員会

岩佐委員より資料 132-4-1 および資料 132-4-2 に基づき、スマートグリッドにおける計量トレーサビリティ調査専門委員会の設置趣意書についての説明があった。

- ・現在、委員を選定中である。委員に大学の先生がいないので公募したい。
- ・設置趣意書は、11月7日に開催される運営委員会で審議されるが、トレーサビリティの視点からという調査専門委員会は他にないことから、問題なく承認されるのではないかと。
- ・委員の交代等がある場合は今月中に申し出ること。
- ・資料 132-8 の計測標準フォーラム講演会では、「スマートグリッドとは何か」について講演があるので、都合のつく人は是非参加してほしい。

5. 学生発表会

大谷幹事より資料 132-5-1 から資料 132-5-6 に基づき、IEEE IM-09 学生研究発表会についての説明があった。

- ・IEEE のアワードについて、9月21日に申請したが、現時点で返事が来ていないので作本幹事が IEEE に確認する。
- ・予算確保の必要性からアワードの申請は毎年行う必要がある。
- ・論文番号の表記は「IEEE IM-S11-〇〇」とする。
- ・採点時の「重みづけ」について、M1を2点、B4を4点、B3を5点とする。
- ・採点の項目は6項目とし、各項目について最高で5点とする。
- ・表彰については、学生の奨学金申請にも影響することから3月までには行いたい。次年度の表彰については、可能であれば活動計画の三次案に入りたい。
- ・佐賀大学の名前を協賛、協力あるいは後援といった名目で出すことが可能かについて、作本幹事が IEEE に確認する。
- ・今回の発表会の開催にあたり、田辺委員長からご挨拶をいただく。
- ・10:55からの座長を佐山委員に変更する。
- ・発表会の開催時期について、学部生については早い時期の発表は無理ではないかと。
- ・今後の開催場所は、佐賀大学、日本大学、電気通信大学、防衛大学校などの輪番とするが、次の開催時期と場所を次回の委員会で議論する。

6. その他

- ・資料 132-6 について、EINA 委員会から活動報告の要請があったため、指宿で開催された研究会での特別講演をとりあげた。
- ・資料 132-7 について、電気学会論文誌 A の1月号の特集解説は部門大会のポスター（資料 132-9）の内容を反映させた。
- ・資料 132-9 について、部門大会においてポスター発表を行った。

次回予定

日 時 平成 24 年 1 月 27 日（金）
場 所 未定